

秩父 市議会だより

第 14 号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (25) 5224
FAX (24) 2594
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



《高篠公民館》 フラダンスクラブ

ボランティア活動・・・高篠デイサービスセンターにて

まだ、はじめて1年に満たないクラブですけど、ハワイの風を感じながら、《美しく健康的に》をモットーに楽しく踊っています。

（高篠公民館では、主催講座3講座が開講し、18団体のクラブが活動しています。また、11月から主催講座が新たに1講座始まります。お気軽にご参加ください。）

請願・陳情

9月定例会に提出された請願は4件です。この請願は、総務委員会(1件)、生活産業委員会(3件)に付託され、慎重審査の結果、次のとおり決定しました。また、陳情については1件提出されました。

請願の内容		
付託委員会	請願名	結果
総務委員会	「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書」の提出を求める請願	不採択
生活産業委員会	燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願	採択
生活産業委員会	秩父市営第一弓道場移転方について	採択
生活産業委員会	市営弓道場の改築について	採択

※「秩父市営第一弓道場移転方について」につきましては、生活産業委員会では採択されましたが、本会議では不採択となりました。

陳情の内容		
要旨	陳情者	
市道(中央)261号線、雨水U字側溝整備施行のお願い	大畑町会 町会長 小沢 三郎	外5名

意見書の提出

9月定例会の最終日の本議会において、議員提出議案の意見書3件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。
内容については次のとおりです。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は、平成22年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要である。過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

雇用・労働の問題と地域活性化の問題は不離一体です。だれもが「希望と誇りを持って働く」、仕事を通じて「安心と豊かさを実感できるコミュニケーションをつくる」、「人とのつながりや社会とのつながりを感じる」、こうした働き方を目指す協同労働の協同組合法は、市民事業による市民主体のまちづくりを創造するものであり、働くこと・生きることに関心を抱える人々自身が、社会連帯の中で仕事をとおし、社会に参加する道を開くものです。

原油高騰に伴うガソリン税の引き下げ及び石油の価格補填を求める意見書

1 原油高騰の直撃を受けている農業者の負担を軽減するためにガソリン税の引き下げ及び石油、肥料、飼料、農業資材の高騰分の補償を含む対策を実施すること。
2 原油や穀物への無秩序な投機を規制すること。

9月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	自民ク	共産党	公明党	新社会	無党派
第 69 号	平成19年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 70 号	平成19年度秩父市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 71 号	平成19年度秩父市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 72 号	平成19年度秩父市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 73 号	平成19年度秩父市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 74 号	平成19年度秩父市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 75 号	平成19年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 76 号	平成19年度秩父市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 77 号	平成19年度秩父市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 78 号	平成19年度秩父市水道事業決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 79 号	平成19年度秩父市立病院事業決算の認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-
第 80 号	工事請負契約の締結について 高篠小学校改築工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 81 号	秩父市市民ギャラリー条例の一部を改正する条例 本町街かどギャラリーを普通財産として活用	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 82 号	秩父市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 中国残留邦人等自立支援法の改正等に伴う変更措置等	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 83 号	秩父市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 公費負担医療の給付控除に関する文言整理	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 84 号	秩父市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の一部を改正する条例 民法改正等による文言整理	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 85 号	秩父市立歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例 吉田歴史民俗資料館を閉館	原案可決	○	1/6	○	○	○	○
第 86 号	ちちぶ夢創り基金条例 ふるさと納税等の寄附金を積み立てるための基金設置条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 87 号	秩父市特別用途地区建築条例 大規模集客施設制限地区の建築制限を規定する条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 88 号	平成20年度秩父市一般会計補正予算（第2回） （仮）重度心身障害者通所施設整備等の予算措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 89 号	平成20年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算（第1回） 平成19年度医療費確定に伴う精算のための予算措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 90 号	平成20年度秩父市老人保健特別会計補正予算（第1回） 平成19年度医療費確定に伴う精算のための予算措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 91 号	平成20年度秩父市介護保険特別会計補正予算（第1回） 平成19年度介護給付費確定に伴う精算のための予算措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 92 号	平成20年度秩父市下水道事業特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 93 号	平成20年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 94 号	平成20年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 95 号	平成20年度秩父市公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 96 号	平成20年度秩父市駐車場事業特別会計補正予算（第1回） 繰越金の確定による補正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 97 号	平成20年度秩父市水道事業会計補正予算（第1回） 水道管布設替え経費の補正	原案可決	○	○	○	○	○	○

9月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結果
議請第10号	「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書」の提出を求める請願	不採択
議請第11号	燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願	採択
議請第12号	秩父市営第一弓道場移転方について	不採択
議請第13号	市営弓道場の改築について	採択
議員提出第43号	秩父市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議員提出第44号	秩父市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
議員提出第45号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決
議員提出第46号	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書	原案可決
議員提出第47号	原油高騰に伴うガソリン税の引き下げ及び石油の価格補填を求める意見書	原案可決

会派の態度					
市民ク	自民ク	共産党	公明党	新社会	無会派
×	○	○	○	○	×
○	○	○	○	○	○
×	○	○	×	○	×
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

市民ク (市民クラブ 14名)
 自民ク (自由民政クラブ 6名)
 共産党 (日本共産党秩父市議団 3名)
 公明党 (公明党 2名)
 新社会 (新社会党秩父市議団 2名)
 無会派 (会派に属さない議員 1名)
 ※議長は会派人数に含まれていない。

○ 賛成
 □ 賛否
※賛成人数/会派人数
 × 反対

◎委員長 ○副委員長

委員会名	氏名
決算審査特別委員会	◎金田安生 ○宮田勝雄 斎藤捷栄
	新井豪 笠原宏平 江田治雄
	富田恵子 笠原重男 金崎昌之
	新井兄三郎

●決算審査特別委員会●
 本委員会は、9月定例会に提出された平成19年度各会計決算の認定に伴う決算審査特別委員会です。秩父市議会は、2年に一度、本特別委員会を設置します。

附属機関の委員

委員会名	氏名
高齢者保健福祉計画等策定委員会	出浦章恵 新井豪 落合芳樹

●附属機関の委員●
 高齢者保健福祉計画等策定委員会の議会選出委員が、次のとおり決定しました。

各常任委員会の動き

総務委員会

◆工事請負契約の締結について

問 この契約は、落札率99・1%と予定価格にきわめて近い落札額となっている。その理由は何か。

答 昨年に比べると若干高くなっている状況であるが、その原因は重油、鋼材の高騰が原因であると考えている。

問 今回の入札の経過を聞きたい。

答 入札の参加条件は、市内業者950点以上3社、県内に本店のある1100点以上の業者9社の計12社により、落札者が決定した。

◆ちちぶ夢創り基金条例

問 6月定例会で提出のあった市税条例の改正と関係があるのか。

答 この基金条例は、ふるさと納税としてご寄付いただいた寄付金について措置するための条例制定で、受入れた寄付金をこの基金に積立て、今後の市政運営に活用するための条例である。

問 「ふるさと」について何かの規定はあるか。

答 出身地の有無に関係なく、単に秩父が好きだからでもよく、特に規定はない。

問 寄付者への対応はどのように考えているか。

答 対応については、本人に礼状と使途経過等の発送を予定しており寄付者の承認が得られれば市報

等で公表したい。

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 交付税が多くなったことの原因として、どんな形で多くなったのか。また、基準財政需要額、収入額はどの程度か。交付税に占める割合の高い項目は何か。

答 増加の理由は、本年度新設された、地方再生対策費、臨時財政対策債元利償還、合併特例債の償還費が措置され、基準財政需要額が増加したことに伴い交付額が増加した。また、割合の高い項目は「地方再生対策費」である。

◆「消費税の税率引き上げ反対を求める意見書の提出を求める請願」

○ この請願審査は、意見書提出に伴い、現状の社会情勢の中で賛否の意見が出され、挙手採決の結果、不採択となった。



高篠小学校

建設委員会

◆秩父市特別用途地区建築条例について

問 旧秩父セメント第一プラント跡地は規制対象地域なのか。又、規制対象地域の起点・終点は。

答 セメント跡地は対象ではない。規制対象地域は準工業地域で宮地区・中村町公園橋付近・影森地区に2カ所の合計4カ所である。

問 なぜ、大規模店舗の規制を床面積1万平方メートルを超えるものとしたか。

答 国からの床面積要件の方針を根拠とした。

問 ショッピングモールのように、同じ敷地に建物が分かれている場合はどのように判断するのか。

答 モール全体を一つの開発として、規制対象となるか否かを判断する。また、建築物の性質が別のもので判断されれば、別の物件として条例上判断することもある。

問 駐車場が建物の中にある場合は、床面積はどう判断するか。

答 露天の駐車場は対象とならないが、立体駐車場は建築物に該当し、床面積として算入する。

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 羊山公園芝桜協力金のうち駐車料金と協力金、寄付金の内訳は。

答 駐車場整備料は2026万5

500円、協力金が192万8691円、使用料・寄付金が19万8495円となっており、協会への委託料を差し引いて1744万9千円計上した。

問 羊山公園の芝桜開花時委託料が約9500万円とあるが黒字と考えてよいのか。

答 入園料の9081万円と協力金の1744万9千円の合計と対策事業費を比較すると若干のプラスになる。

◆平成20年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成20年度秩父市駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成20年度秩父市水道事業会計補正予算(第1回)

問 石間浄水場遠方監視装置設置工事とあるが、他の浄水場にも設置されているのか。

答 吉田地区には、他に4箇所あり、平成21年度の当初予算に計上する予定である。



高篠小学校体育館現地視察

各常任委員会の動き

生活産業委員会

◆秩父市市民ギャラリー条例の一部を改正する条例

問 本町街かどギャラリーの今後の利用方法は。

答 気軽に立寄れるよう秩父らしさを演出し、飲食や土産の販売も含めて商店連盟等と協議していく。

◆秩父市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の一部を改正する条例

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 龍勢祭りの実行委員会補助金の内容は、事故対策のためか。

答 今回の補正は、観客席と危険区域の境に高さ5mの防護ネットを設置するためのものである。昨年の事故を受け対策会議を6月から開催しており、火薬量を減らす警備員の増員等、同じような事故を未然に防ぐため検討している。

問 地域新エネルギービジョン策定等事業費補助金の概要は。

答 新エネルギー産業技術総合開発機構の補助を受け、秩父市の新エネルギーとして、バイオマス、太陽エネルギー等について調査を行うものである。新エネルギー活用については、平成21年度以降にできるものから事業として立ち上げられるよう努力していきたい。

◆平成20年度秩父市農業集落排水

事業特別会計補正予算(第1回)
◆平成20年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成20年度秩父市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

○以上6件は、原案のとおり可決

◆燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願

◆秩父市営第一弓道場移転方について

◆市営弓道場の改築について

※弓道場に関する請願2件を一括で審議。現地調査および紹介議員から提出の主旨を伺い審査した。第一中学校の部活でも使用している場所なので、移転は問題がある。安全対策を万全にすることが最重要、という点では両請願とも一致していると考

えられ、そういう趣旨で両方も採択するという考え方もあるのでは。などの意見が出された。安全対策を早急に行い、弓道連盟、町会、市担当課で協議して事業を進めること、を付帯決議としたうえで2件とも採択した。

○以上3件は、採択

○以上3件は、採択



市営第一弓道場
現地視察

文教福祉委員会

◆秩父市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

問 条例改正で該当になる対象者と二重支給の例は。

答 該当する者はいない。重度心身障害者医療等の関係で、医療費が先に支給され二重になる場合が考えられ、中国在留邦人の支給に関する法律の対象者になる方には、医療扶助が出るので、二重支給を防止するために条文を追加した。

◆秩父市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市立歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例

問 吉田歴史民俗資料館を今年度で廃止することへの対応は。

答 資料の寄付者への御礼と来館者等への閉館のお知らせは、広報やホームページ等を考えている。建物の価値としては、何度か増改築して建築当時と変容しているの

で、文化的な評価は難しい。

◆平成20年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 高齢者等福祉タクシー利用補助事業の減額の理由は。

答 吉田地区の該当者に助成していたが、今年度6月からデマンドタクシーが開始したので、助成金を廃止したため減額が確定した。

問 重度心身障害者通所施設事業の内容は。

答 秩父高校の下の水資源開発公園の武甲寮の施設を改装して作る予定である。

問 文化財保護事業の内容は。

答 国指定の蒔田の「内田家住宅」の麦わら屋根の修繕と市指定の民俗文化財である影森の椿森にある「諏訪神社の付設舞台」の床板の修理である。双方とも補助金の交付要綱の2分の1を補助する。

◆平成20年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆平成20年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第1回)

○以上7件は、原案のとおり可決



吉田歴史民俗資料館現地視察

いっぱんしつもん

信頼される政治

自由民政クラブ 久喜 邦康

問 政策を立てるとき、市民の声を取入れながら事業計画・方法・評価・改善という過程を経て、各種事業を実行していくことが重要である。また、事業に係わる市職員が事業に精通していなければならぬ。その現状を伺う。

答 フローチャートや業務管理シート等はないが、久喜議員の提示したものと同じ方式である。

問 皆野町からの編入合併の申し入れがあった。この編入合併は、秩父市からの要請があったのではないか。今後、議会で論議し市民の理解を得ることが不可欠。合併後のシミュレーションと今後の予定は。

答 時間的制約もあり編入合併が一般的。今後の予定は研究が必要。

問 荒川地区の蕎麦処花見の里は、いつも閑散としている。約1億円かけて建設し、委託料として128万5千円を市から支出している。現状と今後を伺う。また、周辺の民間店と競合するのではないか。

答 収入のうち12%は秩父観光機構へ、78%はあらかわ亭へ。団体客15名以上を対象としているため、民間店との競合はない。

◎ 未来創造こども憲章の制定は
◎ 歴史教育の推進は



市立病院の受付風景

● 頼れる医療

問 私立病院でのオーダーリングシステムは、受付、処方、検査、予約のとき運用されている。これにより、患者と向き合い診察する時間が短縮されるのではないか。診察には支障がないか。

答 私立病院でのオーダーリングシステムは、受付、処方、検査、予約のとき運用されている。これにより、患者と向き合い診察する時間が短縮されるのではないかと。診察には支障がない。

「サイクルシティ秩父」

自由民政クラブ 新井 豪



フジテレビの取材を受けた前回のサイクルトレイン

問 秩父宮杯と高校総体の自転車ロード大会が大成に終わり、多くの大会参加者とその家族や友人、自転車愛好家がこの秩父に注目し、サイクリングや観光で秩父を訪れる事が期待される。この秋には今年2回目の「サイクルトレイン」が開催されるが、この事業を今後どのように発展させるのか。

答 経済効果拡大の為、1泊2日の宿泊型での開催について検討中である。

◎ 外国語指導助手について

● 外国姉妹都市との交流について

問 この夏、豪州のワリンガ市、米国のアンチオック市に、それぞれ派遣団が親善交流の為に渡豪・渡米した。関係を維持するだけでなく、子供たちが「外国人・異文化との接し方」を学ぶ為に非常に有効な事業であり、今後より積極的な事業援助が必要と考えるが、この交流事業をどのように考えているのか。

答 この事業は、とりわけ若者たちにとって海外旅行では経験できない、かけがえの無い財産になっている。今後、各協会と協力し、友好関係の促進に努めたい。

● 市営馬場の存続について

問 広域組合では斎場の増改築計画が進められている。夜祭の御神馬を務める馬たちの為にも、隣接する市営馬場の移転を含めた早急な場所の確保が必要なのでは。

答 事業の進捗状況を把握し、乗馬連盟との協議を密にして、馬場の確保に努める。

いっぱんしゅもん

高校総体秩父会場盛況、大成功
相撲競技、自転車・登山両大会

自由民政クラブ 今井武蔵

問 相撲は秩父文体センターで実施したが状況は。

答 全国48チームが連日熱戦を展開。秩父農工科高が決勝トーナメント出場。声援盛況。

問 高校生一人一役きずなの活動の状況は。

答 秩父農工科高334名、小鹿野高275名、秩父高校120名好評。多く学ぶ。

問 ボランテニアの協力団体は。
答 市交通指導隊、交安協母の会、秩父消防署、秩父・小鹿野警察署、県航空防災隊等、終日対処。

● 埼玉県「みどりと川の再生」

問 みどりと川施策の市の連携は。
答 秩父滝沢、二瀬、浦山、合角4ダムの各集水区域の水源地の針広混交林、広葉大樹植栽等促進中。
注①広域獣害対策は「1都2県によるシカ森林被害協会」が、20年7月発足。埼玉県と都で共同捕獲取組を10月中下旬に天目山で実施予定。②原生林をシカの食害から守る保護ネットを、林野庁、環境団体に設置。

● 秩父市未来創造こども議会

問 こども議会の質問対応は。

答 ①夢のある議員提言を活かす。②歩道、通学路は年次計画で取組む。③郷土芸能継承の子ども伝道師の育成。④農林業、商業の推進。



秩父市未来創造こども議会

● 市民の健康づくりの支援

問 ラジオ体操の取組状況は。
答 市民の健康づくりは19年度82町会で実施し好評。11、12月にラジオ体操講習会を予定。以後、組織的に取組む。

- ◎ 消防広域計画と秩父市の対応
- ◎ ポイ捨て防止策
- ◎ 道路清掃、土等の処理

市内環境保全に向けて、
産廃処分場埋立て後の徹底管理を要請

新社会党秩父市議団 坂本文雄

問 産廃処分場埋立て後の管理は秩父管財(株)が行っている。以前の管理者である柳生商事との管理関連は。旧埼玉三興の処分場の水処理等、徹底した管理を求めた。

答 秩父管財(株)は柳生商事から分社化された会社であるので、柳生商事との交渉も行うよう対処したい。また、旧埼玉三興処分場の汚水処理再開に向けた勧告を埼玉県は両社に行う。

● 市で行う工業団地候補地は

問 県の賃貸規定制定によりみどりが丘工業団地も全区画に会社が入り、秩父市として工業団地候補地を検討しているが、中小企業は土地を購入するのに困難性もある。リース制度も考えているか。
答 道路等の整備を市で実施し、市が地権者と立地企業との間に立ち土地のリース制度も研究する。

● エヌアンドワイ社の開発は

問 開発場内にたい積の土砂の処置の結論は。開発地に進入する140号線の右折帯が安全上必要。

答 たい積土砂は建設残土と混合し国の基準に従って盛土する。右折帯は県の許可申請書に事業主が警察署と協議し右折車線帯を設置する必要がある、との指導がある。右折帯が出来るまでは、左折入出庫とし、常時誘導員を設置する。



影森(樺森)の都市開発予定地

● 6時台の特急レッドアロー1号増発を

問 秩父市から都心に通勤する人が増えている。現在、飯能発の特急を西武秩父駅発にする交渉を。
答 毎年、西武鉄道との話し合いがあるので、その中で要請する。

いっぱんしつもん

夏休み短縮について

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

問 昨年度の検証結果は市民に公開もせず、説明責任を果たしていない。どんな成果が上がったか。

答 連合PTA会長および学校長を通して各PTA関係者等に通知し、保護者に公開されたものと認識している。昨年度の検証結果における短期的な成果については、子どもたちは、夏休みの生活リズムから2学期の学校生活への切替が徐々にでき、9月から本格始動の準備期間として良かった。教職員は、夏休み中の宿題の処理や2学期当初の話し合いが、1週間前倒しできたことで、9月からの本格的な授業や運動会の準備がスムーズに始められた。さらに放課後も使えたことで、例年以上に丁寧な提出物等の処理ができた。授業時間確保という面でも良かった等が上げられている。

問 作品展について言えば、寂しいものになっていると聞くが、子どもものじつくりと作品作りに取り組み意欲や、何かを観察しようとか、研究してみようという意欲を削ぐことにはなっていないか。

答 指摘のような声は無く、昨年度より充実しているという声を聞

くことができました。

問 今後、見直しの考えはあるのか。

答 国の学習指導要領が改訂され、来年度の移行措置期間より授業時間数が増加し、小学校で平成23年度、中学校で平成24年度から完全実施する方向が明確に示された。結果検証して、皆様の意見等も聞いて総合的に検討していく。



秩父市立西小学校

◎市立病院内救急専用施設の整備

安心・安全の消防体制を確立するために・・・

(埼玉消防広域化推進計画について)

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

問 総務省は平成18年の消防組織法の改正に伴い、小規模消防本部を解消して管轄人口を概ね30万人以上の本部組織とする指針を示した。これに伴って埼玉県は、現在36ある消防本部を、7ブロック・7本部体制に整理統合する「埼玉県消防広域化推進計画」を策定した。計画によると、秩父地方は児玉、本庄、深谷、熊谷から行田に至る13市町を包含する、面積約1千5百平方キロ(県面積の約4割)人口約73万人(県人口の約1割)を擁する第5ブロックに組み込まれ、平成24年度末迄に整理統合するとされている。

そこに配備される職員や消防車、救急車等の資機材は平成17年に改訂された「消防力整備の指針」によって算定されるが、私の試算したところによると、現有能力をかなり下回るものとなる恐れがある。現在でも職員充足率75パーセントという状況下の分署では、消防車が出動中は救急車は出動できず、救急車の出動中は消防車が出動できない状態であるのに、この上職員数や消防車、救急車が減らされるような状態になったら、市

民の生命、財産を守り、安心・安全の市民生活を保障できなくなる。この事についてどう考えるか。

答 消防広域化推進計画に基づいて、去る8月25日に県から説明を受けたが、広域化後の消防力シミュレーションなどは示されなかった。指摘のように消防力が低下する等の事態が起きる事のないよう、広域市町村圏組合内の他町とも協議しながら、慎重に対処したい。



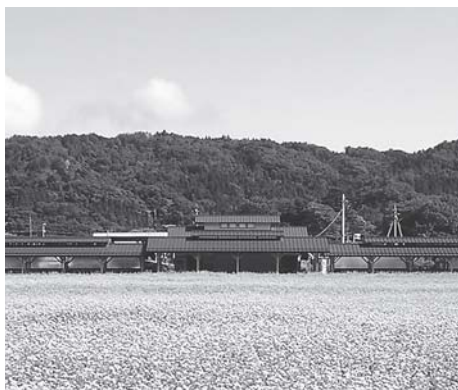
秩父消防本部と救助車

◎皆野町との合併問題について

いっぱんしゅもん

花見の里の将来ビジョンについて

市民クラブ 江田 治 雄



花見の里

問 昨年の秋にオープンした施設を、今後どのような位置づけとして整備するのか。また、SLや電車の臨時停車駅をもうけ集客できないか。さらに、公共施設なのになぜ個人客の対応ができないのか。
答 秩父地域特産の蕎麦や花をテーマとした観光拠点として、さらに、秩父そばの広告塔として役立つよう今後も整備する。低い花木などの植栽も検討している。秩父鉄道の臨時停車駅は、路線の勾配等の問題や費用対効果もふまえて、今後も検討していく。個人客への対応は、地元の飲食店組合の中に賛否両論があるので、組合と協議し検討する。

大滝温泉施設の現状

問 大滝温泉の活性化について。

答 源流郷おたきの経営体制を一新し、改善改革に取り組んでいくところ。夏祭りや、観光ナビを活用し、今後も多くの市民や観光客が、安心して利用できる大滝温泉にしていくべく努力する。

消防団の現状と今後の課題

問 平日昼間の火災時に出勤できない分隊があるがその対策は。

答 消防団の欠員が143人となっている。団員確保のために努める。さらに、職員を中心とする特別部隊の充実と、本庁に中央特別部隊を創設するため準備している。
◎土砂災害による孤立集落は
◎消防無線の訓練状況は
◎消防団の装備購入の方法は
◎大滝歴史資料館の現状は
◎元荒川ビジターセンターの今後の活用は

教育環境の整備について

自由民政クラブ 金田 安生

問 最近のパソコンゲームは暴力的なソフトも多いと聞く。情動的に発達過程にある子ども達は、現実と仮想の区別がつかなくなることも懸がっているのではないかと、心配している。また、物価の高騰で、学校給食も大変苦勞していると聞くが、対策を聞きたい。学校の暑さ対策の現状はどうか。

答 ノーテレビ・ノーゲームの日を設定し、実施している学校もある。人の命の尊さを教えることは時間のかかる問題であるが、今後力を入れていく。また、学校給食は食材の高騰で大変苦勞している。当面は保護者の負担を減らすことなど対応するよう考える。新たに建設した吉田中学校と秩父第一中学校については、午後の最も暑い時間帯で外気温に比べ室温が3℃程低下した。既存校についてはツル性植物で「緑のカーテン」を設置する学校も多く、効果もある。更に普及を図っていききたい。

防犯・防災について

問 保育所等では日中門扉を旋錠しているところも見受けられる。訪問者への対応はどうしているのか。



子ども達の楽しい給食風景

◎公共建築物のランニングコストについて
◎行財政経費削減策について

いっぱんしゅもん

市民に笑顔を

公明党 福田 恵子

問 市民の気持ちが見えてくるような笑顔条例、繁栄条例や、わかりやすい方言を使う考えは。

答 「おもてなしの心」に取り組んでいる。PR効果もあり検討する。

問 自殺対策「市民のこころと命を守る条例」の考えは。

答 施策の検討が極めて大切だ。

芸術文化振興

問 「文化行政」教育長の考えは。

答 市民が芸術文化活動を積極的に行えるよう支援し、市民の文化力を高めることが秩父の独自性、個性の確立に役立ち、大切である。

問 地域文化の伝承、保護、データベース化は。

答 データベース化は、インターネットで公開できるように準備中。

観光圏整備法

問 隣接した観光地が連携して、観光客が2泊3日以上できる観光圏を整備する考えは。

答 彩の国秩父地域観光協議会などで協議、研究し、また県を越えての観光圏も可能なので研究する。

介護保険の見直しについて

日本共産党秩父市議会 新井 康一

問 来年3月が介護保険の3年毎の見直しの時期になっている。その目的は①施設・居住系サービスの利用者数を要介護2以上の認定者の37%以下にする。②介護保険施設利用者のうち、要介護4・5の人が占める割合を70%以上にする。③介護保険施設等の個室・ユニットケアの割合を定員数で50%以上、特別養護老人ホームで70%以上にする。とあり、併せて介護型の療養病床（介護型医療施設）の廃止・転換を盛り込んでいる。行くあてのない高齢者が生まれることが心配される。有料施設に入れる経済的余裕がなければ「在宅は無理、施設もダメ」ということになるのではないか。市としては見直しにあたって施設の充実についてどのように考えているのか。

答 目標量を見極め、必要なサービスが確保できるよう整備する。

問 介護認定について調査項目の削減で更に現状とかけ離れた認定になることが心配されるが。

答 要介護認定モデル事業を行い、現行の認定と大きな差が生じた場合、必要に応じ広域市町村圏組合と調整し、国に要望したい。



入川のトロッコ道

循環型社会の構築

問 プラスチック製容器包装の分別収集の予定は。

答 プラスチック製のごみは可燃ごみの約3割。プラスチック製容器の分別収集は、新たな経費負担が発生するので検討している。

問 施策達成指標の現況は。

答 ごみの排出量は減量している。

問 今回の見直しで最大の焦点になっているのが介護労働者の待遇改善のための介護報酬の見直しだが、介護報酬の引き上げが、保険料・利用料の引き上げにつながるような対策について。

答 給付の増加、報酬の引き上げ、負担率の引き上げ等、値上げせざるを得ない状況がある。値上げ幅を極力おさえるよう検討したい。



上吉田の吉祥苑

◎大滝幹線17号線の安全対策
◎生活道路の市道認定について

いっぱんしつもん

小中学校図書の実を

新社会党秩父市議団 金崎昌之



花の木小学校の図書室

●副教材費の保護者負担減を
問 諸物価の高騰で家計収支は大

問 「自治体が学校図書費を流用」と新聞に載った。国が財政措置した「図書費」に基づき、少なくとも整備すべき蔵書の目標値である「図書標準」は確保すべきと考える。本市の場合どうなっているか。
答 秩父市の予算額は、国の交付税による「図書費」の60・6%で、「図書標準」に対する充足率は85・5%。学校図書の充実は見学・生徒の学習に重要であり、充足率を達成できるよう努力したい。

変敵しい。一律に配布をする副教材等については、財政措置により保護者負担をできる限り低く抑える必要があると考えるが。

答 副教材費の保護者負担額は、小中学校平均で年間8,804円。少しでも負担を減らすよう努力したい。

●ファミリーサポートセンターは

問 十分に活用を図るためには、存在や内容についての周知徹底が求められる。また、「病後児預かり」にあつては、受け入れ体制の充実が必要となっている。

答 会員数・利用件数の拡大のため、より積極的なPRに努めたい。また、「病後児預かり」には専門的な知識が必要であり、研修や講習を充実していきたい。

●公共施設バリアフリー化の促進

問 バリアフリー化を進めるにあつては、障がい者や高齢者など利用者の視点での実態調査が大切。
答 今年度、障がい者団体等へヒアリング等を実施する予定。

梓、配分予算の採用について

自由民政クラブ 中村義一

問 本年度行政評価を導入したということは、一つには財源不足を一律カットでしのぐ時代から、政策を市民に評価してもらいながら、次年度の予算編成を行うことにあると思う。

答 今までの予算編成は、各部署が必要経費を見積もり、財政部がそれをまとめ、加えて市長査定を実施している積み上げ方式と思うが、そうではない、全庁的な観点で見ると、梓配分予算の採用を早めることが必要と考えるが、この方式を実施することにより、現場に裁量権を与え、職員自ら優先順位を決定し、改善すべき点も検討しながら、行政評価システムと予算の仕組みを連動させることにより、行政評価の実効を上げることが出来、あわせて当市職員の政策形成能力が飛躍的に高まる効果が期待できると思うが、当局の考えを問う。

答 施策別、梓配分予算の実施については、職員の政策形成能力の向上や、職員の意欲向上への誘引や引き金となり、この予算は効果的だと思う。

当市も政策施策を導入し、軌道



市役所の職場風景

に乗った時点では、梓配分予算を導入してみたいと思っっている。施策ごとにするか、部局ごとにするか、経常経費部分にするか、政策的経費部分にするか、現在行政評価の予算への反映を研究している。

いっぱんしゅもん

第二回全国学力調査結果について

無会派 新井 重一郎

問 ①市内小・中学校成績の県平均、全国平均との比較②昨年度第一回との比較③今後の取り組みは。

答 ①小学校国語A(基礎)、B(応用)算数A、B共に県及び全国平均を下回る。中学国語A、数学A、Bは県及び全国平均を下回るが国語Bは両者を上回る②小・中学校共に県及び全国平均との差が縮まっている③結果を詳細に分析し課題解決に向かって取り組む。

秩父市の教育環境について

問 ①小・中学校校舎の耐震化の現状②その対策。

答 ①市内に現在小・中学校合わせて23校、校舎と体育館合わせて計60棟ある。その耐震化率は今年4月時点で46.7%で県平均56.1%、全国平均58.6%を下回る。②H26年までに改修予定であったが、可能な限りH22年までに早期実施せよとの国の要請により前倒しで行う予定。

問 新型インフルエンザ対策は。

答 当市ではH18年1月に発生に備えて対策行動計画を策定したが国や県の対策の推進状況を反映さ

せた内容の見直しを検討している。

問 木質系バイオマス・コジェネシステムによるエネルギーの地産地消は国の進める「低炭素社会」を先導する。これを軸にして国の募集する「環境モデル都市」に応募して貰いたい。

答 大切な環境を将来に引き継ぐためにも、応募を検討する。



花の木小学校

◎「理科おもしろ実験教室」のこれからの進め方

◎秩父のブナ原生林の保護育成と森林ツアー企画

地球温暖化について

市民クラブ 宮田 勝雄

問 地球温暖化に伴い地球上に今大きな変化が起きている。今こそ全人類で真剣に取り組むべきと思う。市ではどのように考えているのか。

答 市では市長を本部長として、秩父市地球温暖化対策推進本部を設置。平成24年迄に、温室効果ガスを6%削減に向けて取組んでいく。バイオマス発電はその一環であり、吉田の元気村では太陽光発電・バイオチーゼル等環境にやさしい秩父を目指し取組んでいる。

問 揚水発電所建設誘致は図れないか。

答 現在群馬県上野村で稼働中の東京電力揚水発電所は固定資産税が23億円も入る。秩父は地形的に最適地であり誘致等を検討したい。

問 太陽光発電は現在、熊谷市、深谷市共に補助金を出しているが、秩父市では取入れる考えはないか。

答 クリーンエネルギーなので考慮する。

滝沢園地サイクルパーク事業、観光、大輪宅地分譲について

問 滝沢園地サイクルパーク事業完成が遅れるとの話。いつ頃の完成



滝沢園地

成を目指すのか。また、市内にミニサイクルパークの建設は出来な

答 ダムの安全確認が出来次第着工し早期の完成を予定する。ミニサイクルパークは検討してみる。

問 滝沢園地、ミューズパークの植栽について。

答 滝沢には山茶花、ミューズパークにはアジサイを植栽し、新しい名所通りを育てたい。

問 大輪宅地分譲について。

答 旧大滝村の長年の懸案である。地元の要望を最大限に取入れた価格とする。

いっぱんしゅもん

ちちぶバイオマス元気村発電所について

自由民政クラブ 高野 安之

問 収益性のある事業と市民に報告していることについてどう計算したら収益が出るか。

市報、「NHK国際放送について」で申し上げた内容は、大変見過ごすことの出来ない、重い記事と思っている。

250万円の収入を得るのに、2500万円かかっている。「収益性の有る事業」と言うのですから、仮にも民間事業として、利益が出る根拠が有ると思う。

19年度決算を単純に見て、2500万円の支出に、既に約3億5000万円位投入されている。民間なら金利がかかる、3%に見ても1050万円が金利、3500万円で13分の1、この上に諸税、諸費用がかかる。

答 350kw規模の発電所を作り、24時間、電気と熱を供給したときに、収益性の有る事業にできると計算上出てくるという話をした。

問 NHKへの資料提供は誰か。
答 地域エネルギー環境対策課長。秩父市は、株式会社龍勢のま

ちよしだ元気村に無償で供給している。帳面上はハッキリと記載し

なければならぬ。何故、元気村へ供給した発電所売り上げ分約250万円を計上しないか。

答 元気村自家発電として設置、安定的に運転出来るまで、電気と熱を協定に基づき供給してる。



バイオマス発電所

◎バイオマス発電所建設の目的について

各特別委員会報告

危機管理・ダム対策特別委員会

平成20年6月定例会後から9月定例会までの2回の委員会について報告する。

第20回委員会(7月14日)

この委員会は、滝沢ダムの濁水及び右岸市道(未供用)の亀裂について現地視察を行った。

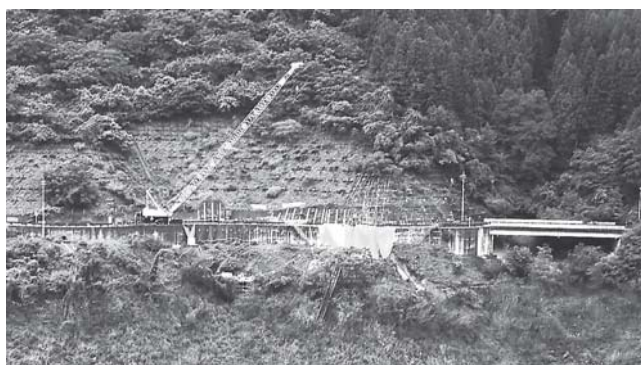
第21回委員会(8月18日)

この委員会は、前回の現地調査を踏まえ、滝沢ダムの濁水、右岸側の市道亀裂、左岸の国道陥没と地すべりの状況について、当局関係者の出席を求め慎重審議された。

市当局の説明では、濁水は7月の視察時より現在の時点の方がきれいになっている。また、右岸側の市道の亀裂は、下流部において沈下が1か月で3ミリ動き、ダム斜面については、1か月で1メートル65センチ動いた。その原因は山からの水が出ることによると想定され、水抜きのためのボーリングで対応している。また、左岸の国道2か所の陥没は対応済で地すべりについては、現在アンカー工事を施工中であり国道の安全確保を図っている。

問 ダム左岸の旧インフォマー

ションセンター下の管理道の対応と地すべりの面積はどの位か。
答 この管理道については、アンカー工事によって安全確保を図り、地すべりの面積については、水資源機構で、専門家に調査依頼がなされているようであり、すべての対策について詳細が示されていないため、確定した報告はできない。
今後とも当委員会は閉会中の継続審査に付すべきものと決定された。



滝沢ダム市道地すべりの現場

各特別委員会報告

有害鳥獣対策等調査特別委員会

第15回委員会(7月14日)

今後の委員会活動についての協議を行った。秩父市のみで有害鳥獣対策に取り組むのでは限界があり、広域または県等に要望を行い、有害鳥獣対策につき意見交換を行うこと。内容について、秩父市においては有害鳥獣被害の実績が把握されており、秩父地域1市4町が被害の実態を持ち寄り、確認しあい、今後広域的な連携と対策をとる必要があるとの意見が出た。

第16回委員会(8月25日)

秩父農林振興センターの主催による秩父地域鳥獣対策に係る情報交換会に各委員が参加したときの意見をまとめた。

講演の中で秩父には、シカ、サルやハクビシンなどによる大きな被害を受けており、個体数を減らすことが大きな当面の目標であるが、県の補助を受けて広域でサルの行動を調べるのも、我々の責任でもある。

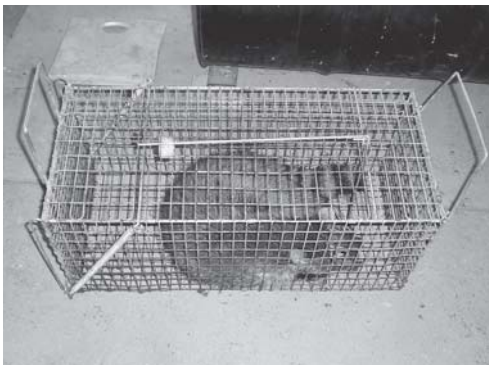
動物に餌付けをしているつもりはないが、自然の中で味を覚えてきたこともあり、人家に近づくことから行動パターンを調べることで、追い払いが絶対に

必要である。

サル等を見たら、みんなで追い払いをする事が大事である。

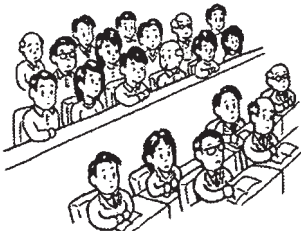
今後は、農林振興センターが中心となり、協議会を立ち上げ、行政が連絡を取り合う組織体制を作ることで、長期間の鳥獣対策を取ることができるようにして頂きたい。また、有害鳥獣対策のパンフレットの配布を行い、基本的な知識を多くの住民が持つことが重要であるとの意見が出た。

本委員会は、今後も調査研究の必要を認め、閉会中の継続審査に付すべきものと決定した。



捕獲されたアライグマ

市議会を傍聴してみませんか



市議会は、毎年3月、6月、9月、12月の4回の定例会と必要に応じ臨時会が開催され、市民の皆さんに直結した議案・請願等を審議します。

市民の皆さんが選んだ代表がどんな活躍をしているか、市議会を傍聴してみませんか。

※次の定例会は**12月1日**開催予定です。

●訂正とお詫び●
市議会だより13号(8月発行)の13ページ下段に掲載してある写真の表題が、「問診風景」とありますが、正しくは「問診風景」です。また、15ページ下段に掲載してある写真の表題が、「地域振興公社が運営している道の駅ちちぶ」とありますが、正しくは「秩父観光機構が運営している道の駅ちちぶ」です。訂正しお詫びいたします。

編集後記

皆さんは「つくばねの実」をご存知ですか。はねつきの時の羽根のような形をしています。

9月下旬、この実の天ぷらをご馳走になり、目で楽しみ、食べましたが、おいしいものでした。

その後、以前つくばねの実を採った場所に行きましたが、山が荒れていて木は見つかりましたが実を見つける事は出来ませんでした。

9月定例会では、ふるさと納税等に対応する条例制定や吉田歴史民俗資料館の廃止、高篠小改築工事契約等を採決し、平成19年度の決算については特別委員会で審議となりましたが、残念な事にここ何回か常任委員会の態度と本議会の態度を変える議員がおりましたが、このような事は議会の信頼が荒廃する要因となるので気を付けたいです。

坂本文雄 記

編集委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 斎藤 栄 |
| 副委員長 | 坂本 文雄 |
| 委員 | 新井 重一郎 |
| " | 新井 重一郎 |
| " | 富田 恵 |
| " | 荒船 功子 |